

て、子孫後繼たるべき幼児の教養に向つては、まず注意を拂はねばなりません。

本誌は、もとより微力ながらも、此點につきては、まず現在及將來に向つて出来るだけ盡した
いと考へますから、どうか、之迄と變らない御同情を賜はつて、お互に、國家のため、幼児保育のため
働きたいと存じます。

年の始に當り、本誌第五歳に達したお祝に兼ねて、一言本誌の抱負を述べた次第であります。(牧羊

外國人の見たる日本幼児の海軍思想養成につきて

本誌の巻首に附けた口繪は、畏くも我が、皇后陛下が去る明治三十五年十月二十九日、女子高等師範
學校に啓けられた時の、御下賜金を以て、幼稚園幼児等のために、帝國軍艦朝日號の模型を購入し
夫を幼児等に説明して居る所であります。之は宮内省に献上する爲めに撮影したのであります。所で、
之について極めて趣味のある事があります。夫は、此寫眞が、何時の間にか佛蘭西に渡つたと見えて、
佛國の雜誌に「日本の幼稚園生の海軍思想養成」といふ題目で、まことに見事に複寫されて出たのであり
ますが、尚、全國のマタン新聞社の前に、同じく此寫眞が掲載せられて、彼國の一般人士の注意を引
たことは、目下巴利に在留せられる陸軍々樂長補永井健氏が讀賣新聞に出した左の記事で分ります。

近頃當地の新聞マタン社の前に掲げてゐます、多くの繪畫や寫眞は、詰り日露戰爭に關係したもので、其中に「海軍の出師準備とは如何なるもので有る乎」と曰ふ問題で、何處で撮影したものか一枚の寫眞が有ります、夫れは我國の或る幼稚園の中庭に、一脚の机、其上に軍艦の模型が恭しく置かれて、周圍に七八歳の男女兒が多く、女教師の説明を聞いてゐる處で、外國の小兒と違ひ、殊に威敬する教師の前ですから、自から行儀の良い姿勢であります、併し艦体の種々な、緻密な個所を、種々な顔付で熟視する、所謂顔の造作を崩してゐる彼等の容子が、極めて無邪氣で、又此時、頗る珍らしい物を始めて見ると同時に、露西亞と云ふ大敵を、叔父さん達が往つて打ち破つたのかナと云ふやうな感じが一同に昭々と現れてゐます、之れに就て、私はまた此異域に在つて、自國の多忙を他所にしてゐる心持から、謂ふに曰はれぬ感に刺戟されましたので、前の話と結び付けたいと思ふのです。云々

私は、之につきても深く感じました。我が 皇后陛下が、ひたすら教育の道を御獎勵遊ばされて、小さな幼稚園の幼兒等までも御顧みになられた結果が、即ち、今日此際、遠い海外へまでも、日本海軍の大成功の決して偶然でないといふことと感ぜさせることになりましたので、之も偏へに陛下の御稜威の致す所と恐縮感佩に堪えぬ所であります。